



No.815  
2024.12.15

発行：男声合唱団 昴  
レッスン会場：  
大阪市中央区谷町7丁目1-39  
谷町第2ビル308号 ねむかホール  
連絡先：090-6058-5652(立川)

## 日本のうたごえ祭典 in 佐賀

佐賀からみんなの心を一つに



ノーベル平和賞を受賞した日本被団協のあいさつ  
挨拶されているのは、長崎県原爆被災者協議会会長の田中  
重光さんと、「地底のうた」でもいっしょに歌って出演されました。



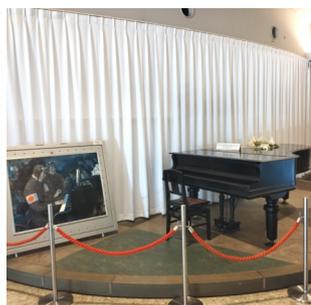
来年開催の神戸・ひょうごへのバトンタッチ

### 映画「月光の夏」を覚えていますか？

音大生の特攻隊員が、出撃前に小学校のピアノでベートーベンのピアノソナタ「月光」を演奏したという実話をもとに映画化したのが「月光の夏」です。(H5年。神山征二郎監督)

今回、米田さんが出演するためオリジナルコンサート会場となった「サンメッセ鳥栖」に行き、そのピアノが修理・展示されているのを知りました。

ドイツのフツペル社製で、現在のお金で1億円の寄付を集めて買ったもので、廃棄されそうになっていたのを、世界の恒久平和を願って、保存・映画製作へとつながっていったそうです。



ロビーに展示されたフツペル社製ピアノは、事務所に申し出れば30分間弾くことができます。

### 12月～1月の活動予定 (会議を除く)

- 12/15(日) 16:00 特別団員合同レッスン (時間変更に注意)
- ” 17:30 定例レッスン (時間変更に注意)
- 12/19(木) 16:30 声楽千秋教室Ⅱ (時間変更に注意)
- 12/20(金) 17:30 定例レッスン
- 12/24(火) 14:00 特別レッスン (追加分)
- 1/5(日) 14:00 昴友の会定例練習会
- 1/7(火) 14:00 T・B合同パートレッスン
- 1/14(火) 14:00 T・B合同パートレッスン
- ” 16:30 声楽千秋教室Ⅰ (時間変更に注意)
- 1/16(木) 16:30 声楽千秋教室Ⅱ (時間変更に注意)
- 1/17(金) 17:30 定例レッスン
- 1/19(日) 14:00 特別団員合同レッスン
- ” 15:30 定例レッスン レッスン後 **新年会**
- 1/26(日) 13:45 **平和を考える講演とうたごえのつどい**  
(松原市文化会館、「ねがい」リハ11:15～)
- 1/28(火) 14:00 特別レッスン (追加分)
- 1/31(金) 13:30 声楽中村教室
- ” 17:30 定例レッスン

### パートレッスン変更のお知らせ

12月～3月のパートレッスンは、TとBの合同で、時間も変更して行うことになりました。

12、1、2、3月の第1・2火曜日 (3月の第1まで)  
14:00～16:30

### 日うた祭典に初めて参加して

T2 米田剛

今回、「日本のうたごえ祭典in佐賀」に初めて参加しました。全国の合唱団の演奏を聴いてみて、私のうたう力に少しでも身に着けた感じがあります。

さがアリーナ会場で、子どもたちの大人数の中でぞう列車のうたごえの歌声は、きれいな透きとおる声で笑顔になりました。荒木栄「地底のうた」500人の大合唱に私も参加でき、心おどりました。1月から荒木栄の映画の中で上映されると聞き驚いています。

奈良の合唱団、目が見えない人たちの合唱には涙が出ました。

私は、今年4月から関西合唱団友の会に入り、合唱曲「帰還」で再び戦争を起すことはならない、「アメイジンググレイス」ではイエス様への感謝と平和を願う気持ちを、青年部では中島みゆきの「ファイト」みんなに励ましのメッセージをと大きな会場で発表、歌うことができ、どちらも金賞でびっくりにしております。

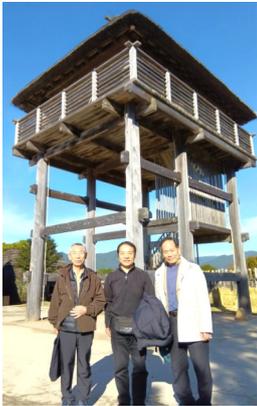
それぞれのパートの声を聞きあって、きれいな声を出して、決してがなった声で歌わないで、一つになって合唱できて幸せでした。積極的に全国の合唱団と交流を深めて、いろいろ話し合っって笑いあえました。

昴でも、全国大会に出れるように、一つになって頑張りましょう。オウ！

## 荒木栄特集 2

大音楽会で、荒木栄の「地底のうた」などを歌った次の日、立川、吉田、吉岡の3人で、荒木栄がいのちを燃やした町、福岡県大牟田市へ車で向かいました。

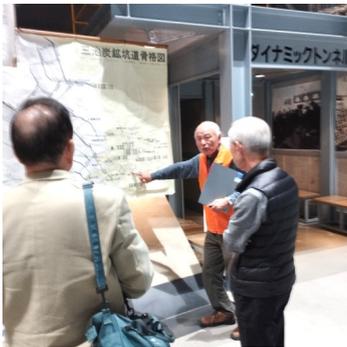
荒木栄の歌に出てくる「豎坑櫓」「カッター」「炭車」などの実物を目にする事ができました。



### 吉野ケ里遺跡

35年ほど前、「邪馬台国ではないか？」と論争が起こった吉野ケ里に寄りました。弥生時代にこんな高い建物があったの？と思う物見櫓に登って、熱心なボランティアのガイドさんの話を聞きました。弥生時代の700年の後、人が住まなくなったのは、いまだに謎だそうです。

本当に広い公園で、ほんの一部しか回れませんでした。



### 大牟田市石炭産業科学館

ここでも熱心なガイドさんに説明を受けて、予定時間を超過してしまいました。

ガイドさんは、労働者作曲家荒木栄の名前は知っているが、歌ったことはないそうです。合唱をやっている、團伊玖磨作曲の「筑後川」は歌ったことがあるとのことでした。

右の機械は、先端の丸い歯で岩盤を削るカッターで、三井三池製作所製だとか。

炭坑内の機械は、三池製作所が作るそうで、時代は違いますが三池製作所に勤務した荒木栄もこうした機械を作っていたのでしょうか？



豎坑櫓と巻揚機室



16人が乗って豎坑から地下に降りるかご



炭車の前で、炭塵爆発の原因を説明する元炭鉱マンのガイドさん

### 三池万田坑跡

熊本県荒尾市の万田坑に着いたときは、どんより曇り空で暗い雰囲気のある場所でした。

ガイドさんは、87歳の元炭鉱マンで、炭塵爆発の時、三池坑にいて三交代で非番だったので助かったそうで、歴史を伝えたいとの使命感で続けていると説明されていました。

見上げる鋼鉄製の豎坑櫓が銀色に輝き、レンガ造りの建物と対照的でした。



毎年10/26に碑前で記念祭が行われているようです



米の山病院の前で

### 荒木栄碑

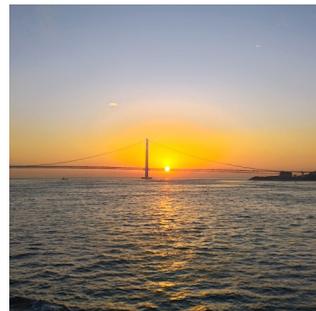
1962年（S37年）に荒木栄の亡くなった米の山病院は、民医連に加盟する地域のセンター病院として、当時とは少し場所も移って近代的な建物になっています。

病院の新築移転に伴って、荒木栄の記念碑も移設されたようです。

病院の玄関前の敷地に、大きな石碑が立っていました。

右横には、説明板もあって、荒木栄を称える多くの人たちの手で記念碑が建てられたことがわかりました。

立川さんが勤務婦りの若い看護師さんに話を聞くと、石碑の由来も荒木栄も知らないそうで、少しがっかりしましたが、フェリーの時間も迫り早々に新門司港への帰途につきました。



新門司港から大阪南港までの船旅の最後に、明石海峡大橋にかかる日の出を見ました。船の上は寒かった！

### 荒木栄の足跡を訪ねて

事務局長 立川孝信

大音楽会の翌日は、紀元前400年から700年間栄えて忽然と消えた吉野ケ里遺跡を見学した。総面積117haの大地に当時のまま豎穴住居や高床住居が再現されていて、その広い大地を見渡していると弥生人の声が聞こえて来るようだった。

その後荒木栄の足跡をたどり、まず荒木が働いた大牟田の三池炭鉱の跡近くの大牟田市石炭産業科学館に行った。明治時代の国家プロジェクトとして石炭産業が興ってきたが、その後民間に払い下げられ三井財閥の主力企業となった。その立役者が団琢磨で、あの「筑後川」の作曲家団伊久磨の祖父だ。

いまだに万田坑に巨大な豎坑がそのまま残っており世界遺産になっている。

そして最後に荒木が38歳の生涯を閉じた米の山病院へ向かった。そこには2m位の巨大な安山岩に荒木栄碑と書かれその下に「地底のうた」の終章の「平和の誓かためよう」の歌詞がまるで力強く歌っているかのように書かれていた。その横には石碑の説明文があり「労働者作曲家として国の内外に広く知られ今も平和・民主主義・社会進歩のために戦う人々を励まし歌い継がれている。地底のうたは現代の革命歌曲ともいうべき代表作であり、その魂は不滅である」と記されていた。